



北海道

高P連だより

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番 第二北海道通信ビル7F
TEL (011) 232-0007 FAX (011) 232-0006
URL : <http://www.hokkaido-koupren.com/>

今号の内容

- ▶ シリーズ北の志
 - ・札幌東陵高校
 - ・奥尻高校
 - ・武修館高校
 - ・南富良野高校
- ▶ 道高P連大会空知大会
- ▶ 全国高P連大会静岡大会

北海道奥尻高等学校



「まなびじま奥尻」で最先端を目指します

北海道札幌東陵高等学校



オープンスクール (書道パフォーマンス)

Heart to Heart 北の志

ひたむきに頑張る君たちを応援したい

北海道南富良野高等学校



学校祭 全校合唱

武修館高等学校



釧路湿原全国車いすマラソン大会奉仕活動

北海道札幌東陵高等学校

教頭 坂本 浩哉

本校は、昭和54年4月に開校。東区の人口は現在25万人を超え、東雁来地区をはじめ、学校周辺は新興住宅街となっています。またこの地区は地域連合町内会の活動も活発で、PTA・学校・地域と連携し、地域の活性化に積極的に取り組んでいます。



平成28年度入学生よりJ.PRESSの新制服

1 地域社会との連携

(1) 地域のお祭りに参加
本地区の夏の地域イベント「燃えれ！我が街」には本校生徒会や吹奏楽局、写真部、美術部が部活動の一環として参加するだけでなく、ボランティアとして自主的に参加する生徒もいます。お祭りの実行委員の中には、高校で関わり、そのまま毎年スタッフとして参

加している卒業生もいます。地元在住の本校の保護者も子どもたちと一体となってイベントに積極的に参加するなど、地域の活性化の一翼を担っています。

(2) 交通安全運動の取組

本校では自転車通学をしている生徒が多く、常に交通事故に対する不安があります。そのため、保護者の協力による交通安全指導や地域町内会と連携した交通安全運動に取り組んでいます。

(3) 学校開放講座の実施

10月には、地域住民や本校教職員が講師となり、学校開放講座を実施しています。その内容は地元のまちづくりセンターの後援を得て英会話等の語学や健康増進の講座、子育てやメンタルヘルスに関することなど多岐にわたります。地域にも好評で、例年10講座程度のべにして100名ほどが受講しています。

2 PTAの取組

(1) 学校祭で友愛セール

学校祭では、PTA主体で、野菜販売を実施。レタスや小松菜のほか、今年は空心菜といった普段なかなか目にすることのない野菜が登場しました。新鮮な野

菜は飛ぶように売れ、あっという間に完売となりました。そのほか、お休み処として、生徒のクラスパフォーマンスのビデオ上映会を行い、訪れる来場者に生徒の一生懸命取り組んでいる様子を紹介しています。また、前夜祭では、帰宅時間が遅くなることを考慮してカレーライスやおにぎりセットの販売も行っています。



PTA野菜販売(学校祭)

(2) 環境美化活動で花植え

毎年6月に外局であるボランティア局員や有志の生徒が協力して、学校敷地内の花植えを実施しています。生徒の通用道路に四季折々の花が咲き誇る様子は、学校に明るい雰囲気を与えてくれています。その他、PTAだよりの発刊や各種研修会の実施等、様々な活動を通して地域に根ざした取組を実践しています。

武修館高等学校

教頭 若杉 直哉

本校は、女子生徒の後期中等教育を担う場の提供を求める地域の強い要望により、昭和三十九年に釧路女子短期大学附属高校として開校いたしました。

平成十六年には、現在の武修館高等学校と校名を変え「愛と奉仕に生きる」(校訓)を実践・リードする



全国「善行表彰」(社会福祉部門)を受賞

人づくりを教育の柱に据え、地域との繋がりを大切にした教育を展開している釧路管内唯一の私立学校(全日制普通科、コース制)です。

●三大ボランティア活動

本校では、ボランティア活動も力を注いでおり、長年にわたり「市内一斉清掃奉仕活動」「釧路湿原全国車いすマラソン奉仕活動」

「献血奉仕活動」を行っておりです。また、今年度はこれまでの活動が評価され、日本善行会から「善行表彰」(社会福祉部門)を受賞いたしました。

●本校のPTA活動

本校では、7月に行われる「武窓祭」(文化祭)を盛り上げるため2日間におたりPTAによる、うどん・そば等の提供を行っています。多くの生徒達が列をつくるほど人気のメニューとなっています。

9月の「強歩大会」では、生徒の安全観察・作業等へ多くのPTAの協力を得ています。今年度は、生徒のがんばりを応援しようと完歩後にうどん・そばを提供することにしました。

釧路港まつりでは街頭巡視を実施し、高校生の実態に触れるとともに教員との生活指導における問題点の共有を図っております。



PTAバザー

そのほか健康安全普及事業や今後の教育の動向及び家庭教育についての講演等の研修活動を行うなど、積極的な活動を行っています。また、今年度は、PTAの委員会組織を改編し「生徒のために」を合い言葉として活動しております。

●中高一貫教育

本校は、併設型中高一貫校として、6年間の教育により学力はもちろん、日本文化や奉仕活動、海外での見学旅行の実施と、私学だからできる教育を行っています。



街頭巡視

また、高校「二貫コース」では東京より進学指導の専門家を呼び、英語・数学特別授業を実施しています。近年では、難関大学に合格するなど着実に成果をあげており、PTAも側面より協力しております。

北海道奥尻高等学校

教頭 井上 壮紀

○本校の概要

北海道江差高校の奥尻分校としてスタートした本校は、平成28年度より道立から奥尻町立へ移管しました。また、平成29年度からは、奥尻町立奥尻中学校との連携型中高一貫校としてスタートしました。

町立となった昨年度から、町で唯一の高校として、奥尻島をまるごと学校と見なし、地域の教育資源を最大限に生かした「まなびじま奥尻プロジェクト」により、地域創生について学び、持続可能な社会づくりの主体者の育成を進めています。

○スクーバダイビング

平成7年度からスタートし、23年目を迎えたスクーバダイビングでは、外部インストラクターによる学科講習、実技講習により、Cカードやアドバンスカード等の各種資格を取得することが出来ます。「奥尻ブルー」と言われる美しい奥尻の海の魅力を再発見し、環境保全について考える取組となっています。



スクーバダイビング

○奥尻パブリシティ本部

奥尻島が抱える課題の探求や調査活動を行い、課題解決策を発表し、プレゼンテーション能力を育てます。今年度は、2月に慶應義塾大学大学院システム・デザインマネジメント研究科と共同研究した島民のQOL調査の結果から、いくつかの課題について解決策を提案します。



町おこしワークショップ

○町おこしワークショップ

奥尻町内外の有識者を学校に招き、奥尻島の課題とその解決についてワーク

ショップ形式で話し合います。様々な課題に対して、活発に意見交換がなされ、地域創生について学ぶ本校の代表的な教育活動です。島を愛し、島に誇りを持つ持続可能な社会づくりの主体者を育成します。



学校祭 (パフォーマンス)

○メンタリングシステム

連携型中高一貫教育では上級生が下級生のメンターとなり、様々な支援をするメンタリングシステムを取り入れています。中高合同授業等で高校生が中学生の学びを支援します。自分の得た知識や技術を分かりやすく教えることが求められ、高校生にとっても、より深い学びとなっています。

この他にも、様々な教育活動を進めており、本校ホームページの他、フェイスブックページでも発信しています。ぜひご覧ください。

北海道南富良野高等学校

教頭 石橋 栄

○本校の概要

本校は、昭和23年に北海道富良野高等学校幾度分校に設置認可され、昭和27年同校から独立しスタートした、全日制普通科1問口の南富良野町立の学校です。

○水害を乗り越えて

平成28年8月下旬、南富良野町は未曾有の大雨によって町内を流れる空知川が決壊しました。幸いにも本校舎は浸水を免れましたが、町の中心部には氾濫した多量の泥水が流れ込み、一時は350人が孤立する事態となりました。本校もインターシップを中止したりJRが不通となったりして学校行事の見直しを迫られる大きな影響を受けました(現在も東鹿越へ新得の区間は、代行バスによる運行)。しかし、そのような

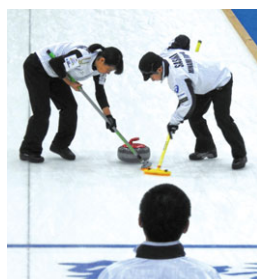


状況でも、本校生は、地元復興のために災害ボランティア

に登録し、汚泥の掻きだしや物資の配給に力を尽くしました。校訓である「自ら積極的に行動し(自主)ねばり強く努力し(精励)自他の望ましい朋友の心を養う(和協)」が強く意識された数週間でした。本校生はこの水害からも多くを学び遅しく前進しています。

○カーヌーとカーリング

本校は、少人数であることを活かした一人一人にきめ細かい丁寧な指導や「地域の子供は地域で育てる」を合言葉に、南富良野町の地域資源を活かした環境学習や福祉ボランティア、地域密着型インターシップや国際交流などの活動を通じて「持続可能な社会の担い手を育む教育」(ESD)を展開する、特色ある教育活動を送っています。とくにカーヌー部とカーリング部は、全国大会や国際大会にも出場し「太陽と森と湖の



まち」南富良野の豊かな自然環境を活用し地域社会と関わる本校の諸活動を象徴する存在です。今年度、カーヌー部はインターハイ女子500mシングル4位(山形大会)を経て国体(愛媛大会)へまたカーリング部は10月上旬の世界ミックス・カーリング選手権(スイス・シャンプペリー大会)へ出場します。

OPTA活動 少人数ゆえに、行事となると、生徒たちは1人で何役もの係を引き受けて、縦横無尽に走り回りますが、それに負けず劣らず、時に勝るほど、学校祭やマラソン大会・体育会等ではPTAの皆様の力強いサポートを頂戴しています。生徒たちは、保護者の皆様に見守られて心豊かに活動に専念しています。その他PTAだよりの発行や地区別懇談会の運営等、年間を通して活動していただいています。



北海道

北海道高等学校PTA
連合会大会会長挨拶

会長 新井田 寛



第67回北海道高等学校PTA連合会大会空知大会に、参加いただきました皆様にお礼申し上げます。

私は、本日の総会で会長を拝命しました新井田でございます。チーム北海道のまとめ役として微力ではありますが努力する所存でありますのでご支援を賜りますようお願いいたします。

本日は全国高等学校PTA連合会会長佐野元彦様を始めとする来賓の皆様にご臨席を賜り誠にありがとうございます。

また、大会を主管する山本傑大会実行委員長を始め、空知支部の21校のPTA会長、役員、校長先生並びに教職員の皆様、大会準備にご尽力いただきましたことを心より感謝申し上げます。

先月十勝支部総会にお邪魔した際、昨年の豪雨被害

の状況をお伺いする機会がありました。想像を絶する状況の中、保護者、学校、行政が迅速に連携し子どもたちが安全に通学できる環境を確保した状況をお聞きし、日頃からPTA活動が地域との連携を図ってきた証ではなかったのかと感じております。災害から10か月が経過しましたが、日勝峠は通行止めが続くなど災害の爪痕が残っている状況です。道高P連としてお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を心より願っております。

さて、激変する社会情勢の中、子どもたちを取り巻く問題だけを見ても、ICT情報通信機器の適切な利用を促しSNSトラブルを未然防止するためのインターネットリテラシーの醸成、教育における地域格差の是正、後期中等教育における特別支援教育、学力と経済力の二極化等々、取り組むべき問題は山積しております、私たちPTAの役割はこれからも一層重要性が高まるものと思えます。

そのため今年度から理事會に設置される委員會を、健全育成、研修、進路対策、調査広報の4委員會とし、

時代の趨勢に的確に応じた効率的な運営に取り組んでまいりたいと思えます。

世の中には多様な意見が存在することも認識しつつ、道高P連の連携を強化する必要があります。私たちの活動にはボランティア精神が大切であり、活動の目的をしっかりと認識しなければなりません。山本前会長は、「すべては子どもたちのために」と繰り返して発信していました。加えて私たち自身も笑顔で、お互いを敬い、気持ちよく活動できる、仲間意識や連帯感を共有することも大切です。大会主題「身近な人と結ぶ信頼の絆」は、まさにここを目指しているとも考えます。

本大会に参加された皆様が多くのご成果を得て、今後のPTA活動の発展に活かしていただけるよう心より願っております。

結びに、北海道高等学校PTA連合会を構成する259単位PTA、そして全道の教育関係機関、全国高等学校PTA連合会が連携し、笑顔溢れる北海道となることを心より祈念し開會のご挨拶といたします。

北海道高等学校
PTA連合会総会

日時 平成29年6月10日
会場 たきかわ文化センター

※ 代議員47名中代理出席13名を含め46名の出席があり総会は成立した。

※ 議長・議事録署名人の選任
議長に齋藤聡氏(空知支部・岩見沢東高校PTA会長)、議事録署名人に宇野義行氏(旭川支部・旭川工業高校PTA会長)及び岩田一郎氏(釧路支部・釧路東高校長)を選任した。

※ 議事
第1号議案
平成28年度事業報告・収支決算報告

事務局が事業報告(会務報告と事業概要報告)及び収支決算報告(一般会計決算報告と各特別会計決算報告)を行った。

続いて、下山監事が会則第10条第1項第3号の規定に基づき監査を実施し、適正に執行されていることを確認した旨の監査報告を行った。

質問・意見等はなく満

場一致で承認された。

第2号議案
北海道高等学校PTA連合会会則第23条の一部改正

事務局が事業の推進に

あたり活性化と効率化を図ること、及び全国高P連との連携を強化するため、理事會に設置される

第3号議案
平成29年度役員選考委員長の選任

事務局が事業計画案(会議、高校教育振興対策事業、健全育成事業、研修事業、進路対策事業、調査広報事業、健康安全対策事業、表彰事業、各支部との連携等)の概要について説明し、続いて、一般会計予算案及び各特別会計予算案について説明した。

質問・意見等はなく満

場一致で可決された。

第1号報告
事務局が昨年度総会以降に理事會で決定された、道高P連会則施行細則及び事務局職員就業規程の一部改正について報告した。

第2号報告
事務局が平成30年度道高P連総会・第68回全道大会開催日程、及び平成31年度以降の道高P連総会・全道大会主管支部について報告・確認した。

第3号議案
平成29年度役員選考委員長の選任

事務局が平成30年度道高P連総会・第68回全道大会開催日程、及び平成31年度以降の道高P連総会・全道大会主管支部について報告・確認した。

質問・意見等はなく満

場一致で可決された。

第3号議案
平成29年度役員選考委員長の選任

事務局が平成30年度道高P連総会・第68回全道大会開催日程、及び平成31年度以降の道高P連総会・全道大会主管支部について報告・確認した。



第3回道高P連理事會において総会で提案する承認を得た9名の役員候補について会則8条に基づき推薦した。

質問・意見等はなく満

場一致で可決された。

第4号議案
平成29年度事業計画・収支予算

事務局が事業計画案(会議、高校教育振興対策事業、健全育成事業、研修事業、進路対策事業、調査広報事業、健康安全対策事業、表彰事業、各支部との連携等)の概要について説明し、続いて、一般会計予算案及び各特別会計予算案について説明した。

質問・意見等はなく満

場一致で可決された。

第1号報告
事務局が昨年度総会以降に理事會で決定された、道高P連会則施行細則及び事務局職員就業規程の一部改正について報告した。

委員会から

7月の第1回理事会で各委員会の所掌業務が決定され、その後各委員会が初会合を開き、今年度の活動について検討を行いました。主な内容です。

健全育成委員会

「高校生と語るつどい」を旭川・後志の二支部で実施するほか、話し合いの場面をより充実したものとすするためワールドカフェ方式を試行実施する。

研修委員会

高P連北海道大会の実施方法や運営等の改善の検討と、会員の資質向上や教養増進のための研修事業を企画し来年度から導入できるようにする。

進路対策委員会

進路に関する親や子ども意識に関する調査の実施や、キャリア教育の研修、進路指導へのPTAの協力の在り方等について検討する。

調査広報委員会

広報事業の抜本的見直しを行い、ホームページを拡充する。「高P連だより」は運営や財務状況など新たな内容で年一回発行し、全会員に配布する。

道教委・高P連教育懇談会

9月13日ホテルポールスターで高P連役員と道教委の高校教育、PTA関係部局担当者との懇談会が行われました。道教委からは高校教育課、健康体育課、生涯学習課などから9名が参加し、活発な意見交換が行われました。本会としては初の取組です。

野幌高校でワールドカフェ試行

9月16日野幌高校で江別市内4校から高校生36人、PTA16人が参加し、ワールドカフェ形式の研修の試行が行われました。ワールドカフェはメンバーを随時替えながら少人数での話し合いを効果的に深めていく新しい討論の形式のひとつです。「2045年の高校」などをテーマに、道高P連



の健全育成委員の野幌高校の林正憲校長が進行役と

平成29年度 北海道高等学校PTA連合会 役員名簿

Table with 7 columns: 連番, 役職名, 氏名, 所属, 所属校等, 所属委員会, 備考. It lists the names and roles of the officers for the Hokkaido High School PTA Union for the 29th year of the Heisei era.

全国高P連総会

6月24日東京ガーデンパ

なって討論が進められました。形にとらわれず自由な発想で話し合えるのがよいなどの感想が寄せられました。今後も様々な研修の場面で生かしていきたいものです。

レスで29年度全国高P連総会が開催され、新会長に牧田和樹氏(富山)が選任されました。前会長の佐野元彦氏(秋田)は顧問に、また、道高P連の新井田寛会長が全国高P連健全育成委員長に就任しました。

広報事業のお知らせ

平成30年度から広報事業を見直し、ホームページを拡充します。「高P連だより」は新たな内容で年一回発行し、全会員に配布します。

第67回北海道高等学校PTA連合会大会空知大会



北海道高等学校PTA連合会空知支部長 山木 傑
(北海道滝川西高等学校PTA会長)

第67回道高P連大会空知

大会が『身近な人と結ぶ信頼の絆』を大会主題に、『母なる大河石狩の流れる空知野から育もう未来の主人公である子どもたちへの熱い想い』の大会メッセージのもと、全道各地227校から1047名の保護者・教職員の参加をしていただきました。滝川西高校を主管校として、空知支部21校のPTAの力を合わせて空知大会が始まりました。

【開会式】

開会式では、主催者を代表して新井田寛会長が就任の挨拶の後、前会長の「全ては子どもたちのために」に加えて、活動の主体である私たち自身が笑顔で活動ができるよう、仲間意識や連帯感を共有することが重要であると決意を述べました。続いて、実行委員長が各方面へ大会開催のお礼の後、子どもたちを健やかに育むことが家庭、学校、地域に求められていることと、講師紹介、今大会の成功を祈念させていただきました。その後、共催者である、(社)全国高等学校PTA連合会佐野元彦会長が挨拶し、表彰ならびに感謝状の贈呈を行いました。山本富造前会長のパフォーマンスや、謝辞で会場を盛り上げていただきました。御来賓の方々の祝辞の後、今年から取り入れた、新役員紹介を行いました。開会式を終りました。



受賞された皆さん

【講演会】

株式会社アイスブレイク代表取締役の中村信仁氏の講演に迎え、「めぐりあいのふしぎ」の演題で90分間たっぷり講演していただきました。

中村氏の師匠である日高晤郎氏の話、営業を行っていた時の話、ラジオのパリソナリティー時代の話、忘れた頃に恩が返ってきた話そして、牛乳の話。牛乳の日付の新しいものと古いもののどちらを買うかの話題で会場が盛り上がりしました。

お母さんの勘定書きの話には、会場にいる沢山の方々が頷いて話を聞いていました。募金の話を聞いて、自分もできることから始めなければと改めて考えることができました。

最後に、PTAを代表して林智恵子副実行委員長(美唄聖華高校PTA会長)と、中村氏の母校の札幌南陵高校PTAから感謝の花束が贈られました。



【分科会】

大会2日目は、滝川高校18分科会と滝川西高校17分科会、合計35の分科会を行いました。

「学校と家庭をつなぐPTA活動のあり方について」「学校と地域とPTAの協働活動について」「学校に足を運びたくなるPTA活動について」などを

テーマに話し合いが行われました。各分科会、自己紹介の後、熱心な話し合いが行われ、各校で行われているPTA活動の内容を聞くことができました。



「地域によって、つながり方により違いがある」「OB・OGとのつながりでの活動に興味を持った」「メール配信に興味を持った」など終了後に聞くことができました。

この二日間、全道各地のPTAの方々と楽しく交流をすることができました。参加された方々の意欲的な活動で、空知大会が盛会のうちに終了しました。参加されたPTAの方々、ありがとうございました。帯広大会での再会を楽しみにしております。

全道大会スケッチ



第67回全国高等学校PTA連合会大会(静岡)大会に参加して



北海道帯広農業高等学校PTA会長 山口 誠

第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会は、8月24～25日の両日、『有徳の人』づくり～未来のために行動する『一人』を育てよう』をテーマとして、静岡県小笠山総合運動公園エコーアリーナを主会場に、全国から約9千人が参加し開催されました。少子高齢化、経済のグローバル化、情報社会の進展など大きな変革の時代を迎えて、求められるのは未来のために行動する「徳」を備えた人材であると考え、『有徳の人』づくりをテーマに企画されました。

よく生活するための「徳」について話され、続いて杉浦政紀実行委員長から静岡県県の魅力を紹介する歓迎の挨拶がありました。来賓の林芳正文部科学大臣の祝辞に続き、川勝平太静岡県知事からは、「富国・有徳の理想郷 “ふじのくに” づくり」を掲げ、有徳の人材を育て、物心ともに豊かな社会を築き、地域主権に向けて自立の基礎を固め、理想郷の実現をめざすという静岡県の取り組みが紹介されました。

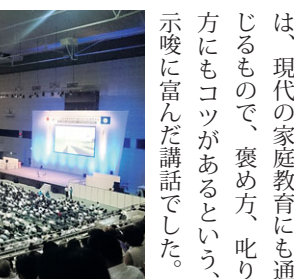
また、PTA活動に尽力された団体、個人の表彰も行われ励みとなりました。

静岡大学名誉教授による「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」でした。大河ドラマ「おんな城主 直虎」をはじめ大河ドラマの時代考証を担当してきた氏の、歴史から学ぶ子育てについての内容はわかりやすく、武將が自分の経験から得た教えを、子や孫に「武刃咄」を通して伝えていった様子は、現代の家庭教育にも通じるもので、褒め方、叱り方にもコツがあるという、示唆に富んだ講話でした。

● 記念講演
二日目は俳優の寛利夫さんによる「これがオレの生きざまだ！」と題した記念講演(トークショー)がありました。映画『踊る大捜査線』などドラマや映画で活躍している氏の子どもの頃の逸話(小学生の時に近所の中学校の窓ガラスを割り中学校の校長室で謝罪したところ、翌日小学校の全校集会で褒められたこと)や、部活動にかけた浜松東高校時代の話、役者としての生きざまなど、笑いを混じえた軽妙なトークに会場は沸きました。やりたいことを見つけてそれを追いかける子どもと、それを陰ながら支える大人の存在の大切さを教えられました。

● まとめ
連日37度という酷暑の静岡でしたが、全国のPTAの皆さん方の活動に寄せる熱い思いも伝わってきました。また、都府県の方との交流の機会にもなりました。それぞれの地域・学校での活動を情報交換することで、同じような悩みを持つ仲間ながらも日々奮闘している様子がよくわかり、勉強になった二日間でした。

「有徳の人材」を育む精神は、実は戦国の時代から変わらず、情報社会の今こそ、地に足をつけて、「学校」「家庭」「地域」が子どもを見守り、支えていく大切さについて考えさせられました。帰路のバスの車窓から勇壮な富士山を眺めながら、この大会で得られたことを地域で活かして、PTA活動の一層の活性化につなげていきたいと強く思いました。



● 開会式
開会式では、牧田和樹会長が、子どもが社会でよりよく生活するための「徳」について話され、続いて杉浦政紀実行委員長から静岡県県の魅力を紹介する歓迎の挨拶がありました。来賓の林芳正文部科学大臣の祝辞に続き、川勝平太静岡県知事からは、「富国・有徳の理想郷 “ふじのくに” づくり」を掲げ、有徳の人材を育て、物心ともに豊かな社会を築き、地域主権に向けて自立の基礎を固め、理想郷の実現をめざすという静岡県の取り組みが紹介されました。

● 基調講演
基調講演は、小和田哲男

● 基調講演
基調講演は、小和田哲男

● 基調講演
基調講演は、小和田哲男

● 分科会
全国高P連研究発表、2つの特別分科会と4つの分科会に分かれて行われました。

● 分科会
全国高P連研究発表、2つの特別分科会と4つの分科会に分かれて行われました。



静岡(全国)大会広報紙展示



支部だより

室部
根支

『根室管内PTA活動の充実に向けて』

北海道高等学校PTA連合会 根室支部長 富川 歩
(北海道根室高等学校PTA会長)



根室支部は現在7校7単Pで構成されています。昨年度までは羅臼高校が事務局校を担当し、平成29、30年度は根室高校が担当することになりました。普段は各単Pで、学校行事への協力やPTA主催の研修会等を中心に活動しています。PTAとして会員相互の結びつきを強めるために、年2回の主催事業を行っており、昨年度からの主な事業を紹介させていただきます。

昨年年度の支部総会及び第1回研修会は6月4日(土)に羅臼町役場公民館にて開催されました。研修会では知床羅臼観光協議会会長、長谷川正人様を講師に迎え「感動200%クジラと回遊!観光産業から地域振興を目指して」というテーマで研修会を行いました。実際にクルージングも体験し、充実した研修会となりました。また、9月24日(土)、25日(日)には、「高校生と語るつどい」が、「羅臼の宿まるみ」にて開催されました。高校生36名、保護者16名、教員24名の計76名が参加し高校生との交流会や町内事業の視察等を行いました。さらに、11月19日(土)には「High School fes 2016 in 標津」が標津町生涯学習センターあすばるで開催されました。「私たちが創りあげる地域の色」というテーマで各校が地元とコラボし、ステージ発表や販売・体験コーナーを設けての販売会等を行いました。微力ではありましたが、高P連根室支部として携わることができました。



High School fes 2016 in 標津



平成29年度第1回研修会 納沙布岬・北方館

今年度は、6月3日(土)に根室高校会議室及び納沙布岬・北方館にて、支部総会と第1回研修会が開催されました。総会では、平成29年度事業計画、会計予算、支部役員の見直し等の議案が承認されま

寄部
名支

「自分は人のためにどう生きるのか」

北海道高等学校PTA連合会 名寄支部長 大橋 直幸
(北海道士別翔雲高等学校PTA会長)



雄大な北の大地、道北地区に点在している15校によって名寄支部の組織は構成されており、士別の地において、名寄支部総会と併せて教育講演会が開かれました。講師に牧野准子様をお招きし、演題を「障がいをもつていきること」伝えたい心のバリアフリー」としてご講演を賜りました。牧野先生は二級建築士、インテリアコーディネーターとして、各地で住宅や店舗などのデザインを手掛けていました。しかし、順風満帆の生活から突然、進行性の脊髄の難病を発症。紆余曲折しながら障がい者としての責務を自ら考え、現在では社会福祉事業を側面からサポートするべく講師や相談カウンセラー、アドバイザーを兼任されています。

さらには障がいを通じ、まちづくり団体の代表までを務められています。あまりの公職の多さに驚愕致しましたが、強い劣等感に襲われプライドと夢や希望までも奪われた現実、目を背けることなく現実を直視して前向きに生きていく過程の中で、人として、母親として、障がい者として、自分はどうか生きるのか、人として大切なものは何なのかということをお話して頂きました。利己主義が蔓延する現代において、まさに忘れかけていた「人」としての生き方を教わった気がいたしました。



後悔しないように 精一杯毎日を生きているのか

「自分は人のためにどう生きるのか」 この度の講演で、自身自身に問い直すことができ、命の尊さと人生の素晴らしさを教わったような気がしてなりません。

